

HOME TOWN MEMURO

ふるさと通信



友好都市との交流事業
広尾町×芽室町×揖斐川町

十勝広尾町 友好都市交流35周年

広尾町紹介

ふるさと会インタビュー

もうひとつの
めむろ氷灯夜2022

ふるさと納税

NO.44

芽室町内にあるtou/tell（トウテル）というナチュラル＆オーガニックストアが1周年を迎え、anniversaryevent（アニバーサリーイベント）が3月の毎週土曜日に開催されました。
3月19日（土）は芽室町の友好都市である「広尾町」と「岐阜県揖斐川町」の3町によるコラボが実現しました。
当日は大雪に見舞われましたが、多くの方に足を運んでいただき、芽室町のことはもちろん、広尾町と揖斐川町の文化に触れてもらう機会となりました。

MEET'S

1st anniversary saturday special event.



Ibigawa

ぎふコーラ



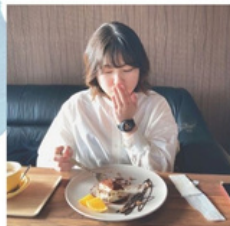
Ibigawa

三年晩茶



Hiroo

ほしくずこんぶ
星屑昆布



Hiroo's guest

ほしくずこんぶ
星屑昆布
レシピ紹介



ぎふコーラ

農事組合法人 春日茶園

三年晩茶

3年以上育成した木の茎や葉で作る滋味深い一杯

揖斐川町旧春日村では、古来より農薬を使用せず地域の「在来種」であるお茶を栽培し続けてきた。

その中でも三年晩茶は、岐阜のマチュピチュともいわれる天空の茶畑で栽培され、薪火仕込みならではの風味で苦味が少なく、香ばしさとほのぼのとした甘みが特徴。



三年晩茶



広尾町の魅力を熱く語る
漁師・保志さん

星屑昆布



ほし乃屋

暮らすように旅をする

北海道の十勝・広尾町でとれる昆布を

主とした、次世代へ繋ぐ新しい昆布の文化を提案する「漁師・ほし乃屋」地域の活性化や持続可能な漁業への取り組みを行っている。活動の中で、昆布の収穫作業などを体験ツアーとして開催しており、「観光という観光をつくるのではなく、産業（日々の営み）を観光にすることで、地域の課題解決に繋がっていくのだと思う」と保志さんは語る。

保志 弘一（ほし ひろかず）さん



十勝広尾町出身、祖父の代から続く3代目漁師。昆布やツブといった広尾町の特産品を中心に漁を行っている。ただとるのではなく、町の活性化や持続可能な漁業を実現するため2020年、独自に昆布の6次化をスタートさせる。



UOZAYA

中村 果歩（なかむら かほ）さん

料理家/文筆家

更別村の地域創造複合施設「sarapark（サラパーク）」内のレストラン勤務。

今回のイベントでは、「星屑昆布」を使ったレシピを考案。

■更別村地域創造複合施設 sarapark
〒089-1500 更別村字更別南1線93番地38
TEL:0155-52-5000





広尾町とのつながり。

同じ十勝に位置しながらも立地環境や産業・文化が異なり互いにはない地域性に着目し、両町の交流による活性化を願い昭和62年7月「うみとやまのふれあい宣言」による友好都市提携を結びました。

令和3年度はその35周年の節目の年でもありました。

両町の交流は今後ますます加速し続けます。交流はまちづくりへとつながり、その可能性は無限大です。



芽室に広尾ブース

芽室町役場庁舎1階町民ホールで、クリスマスツリーやリースの展示と夜間のイルミネーションの点灯を行いました。このクリスマスグッズはサンタクロースの故郷ノルウェーから日本で唯一のサンタランドとして認定されている広尾町からお借りして実現したものです。普段広尾町を訪れる機会のない人にとっても広尾町のことを知ってもらう場になりました。



特産品お取り寄せ

両町の特産品をピックアップし、お取り寄せを行いました。広尾町からは珍味や焼きそば、アイス。芽室町からは、ジンギスカン、コーンチーズマン、ポップコーンなどの特産品がピックアップされ、普段スーパーなどでは見かけることのないお互いの地元ならではの味を楽しみました。



オンライン交流会

広尾町と芽室町の役場職員が各自のパソコンやスマホを使用して、オンライン上で顔を合わせての交流を実施しました。同じ十勝とはいえ、なかなか交流する機会がないため、初めはぎこちなさもありましたが、時間がたつにつれ話も弾み、新たな交流企画も考案するなどとても有意義な交流となりました。

うみとやまのふれあい給食

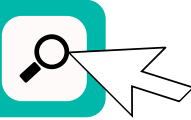
2月25日（金）うみのまち広尾町とやまのまち芽室町の食材を使用した「うみやま給食」が両町の小中学生へ同日に提供されました。これは、昨年度35周年を迎えた「うみとやまのふれあい交流」を記念して行われたもので、35年の歴史の中で初の試みとなる給食交流となりました。

広尾町の「たら」を使用したたらのチゲ汁、芽室町の「ごぼう」「じゃがいも」「さやいんげん」を使用したごぼう入り肉じゃがが提供され、普段給食では食べなじみのない「たら」に子どもたちからは、「骨がなくて食べやすかった」「1年に1回はこの給食が食べたい」とのうれしい声が聴かれました。

給食中には、各クラスでうみやま交流の紹介動画が放映されました。なぜ広尾町と芽室町の交流が始まったかを知り、今回の給食で使用されている食材について生産者からのメッセージを見て、食材について学び、食材に感謝する食育の時間にもなりました。

うみやま給食の詳細や交流紹介動画については、芽室町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

芽室町 うみやま給食



で検索



ーたらのチゲ汁ー

材料（2人分）

真鱈・・・	100g	★キムチの素・・・	10g
油揚げ・・・	20g	★鶏がらスープ・・・	小さじ1
大根・・・	50g	★みそ・・・	大さじ1
にんじん・・・	20g	★しょうゆ・・・	小さじ2
長ねぎ・・・	10g	★上白糖・・・	小さじ1/2
水・・・	660ml	★ごま油・・・	小さじ1

ーごぼう入り肉じゃがー

材料（2人分）

豚肉・・・	60g	★しょうゆ・・・	大さじ1
じゃがいも・・・	2個	★さとう・・・	大さじ1
玉ねぎ・・・	1/4個	★みりん・・・	小さじ1
にんじん・・・	1/2個	★酒・・・	小さじ1/2
さやいんげん・・・	4本	★塩・・・	少々
ごぼう・・・	40g	油・・・	小さじ2
水・・・	150ml		



作り方

- 鍋に油をひき、大根、にんじんを軽く炒める
- 水を入れ沸騰させる
- ★の調味料を加え味を調えて完成

作り方

- フライパンに油をひき、豚肉を炒める
- 豚肉に火が通ったら、にんじん、玉ねぎ、じゃがいも、ごぼうを加えさらに炒める
- 水を入れ沸騰したらアクを取り、★の調味料を加える
- さやいんげんを散らし、火を通す



海の幸の宝庫

ししゃも収穫量日本一

広尾町の港では、北海道を代表する海の幸が水揚げされている。中でも、全世界で北海道の太平洋沿岸にしか生息していない「ししゃも」の水揚げが日本一。



黄金街道

断崖を縫うように走る黄金道路

黄金道路と呼ばれる広尾町からえりも町庶野までの道のりは約28 K M。その道路は「日本百名道」にも選ばれ、百名道完走を目指すドライバーの憧れの道路でもある。

昭和初期、断崖を切り開く難工事の末、7年の歳月をかけて竣工。総工費約95万円で当時としてはまさしく黄金のごとく巨費が投じられたところから、黄金道路と呼ばれるように。

国道沿いにポツンとたたずむ工房KI-KIRU

テーブルや椅子といった大きな家具から、箸置きやフォーク、ブローチやアクセサリーなどのファッションアイテムまで幅広い木材製品を制作している。木工職人の^{とざわ まこと}斗沢 誠さんは、林業に携わるすべての人に敬意を払い、木材をできるかぎり使い切ることを大切にしている。製品からは木の温かみと、木に込められた斗沢さんの想いが感じられる。



家具雑貨工房 KI-KIRU（きーきる）

〒089-2561 広尾町野塚6線
TEL:090-1527-2170



広尾

夢とロマン
青い海と季節の花々で
彩られる港町

現在の人口約6,350人
この小さな町から
十勝の開拓は始まった

夏は涼しく
冬は十勝管内で最も暖かい

広大な海と豊かな自然
四季折々の魅力が
たっぷりと詰まった街並みに
魅了されること間違いなし

さあ、広尾町へ行ってみよう



ウッドランタン

サンタの「森と灯り」プロジェクト
令和3年度よりサンタランドにウッドイルミネーションが追加。約1,000個ものウッドランタンがサンタランドを彩っている。ランタンは広尾町産のカラ松・トド松を使用。木の温かみを感じられる神秘的な空間に。



サンタランド & 大丸山森林公園

広尾サンタランドは1年中クリスマス

サンタの故郷ノルウェー・オスロ市から日本唯一のサンタランドとして認定されている広尾サンタランドは、日本一早いツリー点灯式が行われることで有名。「サンタの家」ではクリスマス関連グッズが販売されており、1年中クリスマスを楽しむことができる。

〒089-2600 広尾町広尾689
TEL:01558-2-3293

おしえて あなたのふるさと会



自分の所属しているふるさと会以外の会員さんとは交流が少ない
ほかのふるさと会がどんな活動をしているのかわからない・・・
そんな方の為に、各ふるさと会をご紹介します！
懐かしい芽室町でのエピソードも盛りだくさん



旭川芽室会 会長 東堂 明 氏

AKIRA TOUDO

昭和62年11月創立。
現在の会員数は19名。
隔年で総会を開催していたが、近年コロナ禍でリアル開催が
できておらず、令和4年度の開催に期待が高まる。

思い出は相撲



小学校入学前から大の相撲好き。大相撲が芽室に来ると必ず親に連れて行ってもらいました。小学校にあがると、あちこちの部落で祭りがあると相撲大会に行って賞品稼ぎをしたものです。3人抜き、5人抜き、7人抜きがあつて、3人抜きをとると次の対戦相手は大人。そつと抱き上げられて外に出されました。2つと賞が取れないようになっていて、どこの部落も同じ仕組みでした。子供心に納得がいきませんでした。

私は北明中学校を卒業すると帯広の高校に行きましたので、思い出せるような青春時代の思い出はありませんでしたが、霜が降りる季節になると霜予防に火をつける木をを運んだり、農作業の手伝いをしましたが、当時の農家の労働は大変な苦勞でした。

新たな魅力

芽室町で試験栽培されている寒さに強いサツマイモの記事を道新で目にしました。試験栽培したところ茨城県での早掘り栽培と同じ収量との事で、芽室町にまた一つ全国的なニュースに期待が増えました。

オリンピック競技・・・！？

芽室町はゲートボールの発祥の地ですが、残念ながら私は芽室町の見学コースの中で一度プレーしただけで、ご無沙汰しております。(ゴルフばかり参加しておりました)急速な高齢化社会ですから、手ごろなスポーツとしてゲートボールをどんどん普及させて、いずれ、オリンピック競技にどうでしょうか？

ぜひ紹介を

お子様や親せきが、旭川におられましたら、ぜひふるさと会を紹介いただきたいと思います。今度の総会では大事な役員改選があり、若返りをはかります。元気な芽室会になるように応援お願いします。



大樹町芽室会 会長 砂田 正好 氏

MASAYOSHI SUNADA

昭和58年、有志によって立ち上げられた。
現在の会員数は48名。過去には118名もの会員がいたことも。
令和4年度、総会が40回の節目を迎える。



会の活動

会が発足して今年で40年になりますが現在の会員数は48名。以前は118名を有していましたが。会員の減少と、高齢化に懸念されるところです。コロナウイルス感染症拡大以前は、勉強会、体力増進(パークゴルフ)、慰安旅行等々開催していました。10月の総会には来賓の方を招き、会員の手料理で懇親会を開催していました。ふるさと会はクラス会のような想いでいます。



芽室町の財産

古民家の松久園とニジマス料理、現芝田山親方の生地は将来にも保存してほしいものです。みなさんもお存じであろう「ファーマーズマーケット愛菜屋」は、自宅から70KMほど離れていても、品の豊富さ、新鮮さ、価格からいつもわくわくして利用しています。芽室町へ訪れる際にはぜひ足を運んでみてください。

通学の道のり

小、中、高と約4.2kmの砂利道を徒歩で往路2時間半以上かけて通学しました。大雨で芽室橋が流されて登校できなかったこと、冬は猛吹雪で集団下校をしたこともありました。当時としては学校へ通うのが嫌でした。反面、芽室坂でのスキー学習は、幼い頃の思い出として記憶に残るところです。私が中学生の頃、昭和39年の駅前的大火は今でも忘れられない出来事の一つです。

一芽室大火一

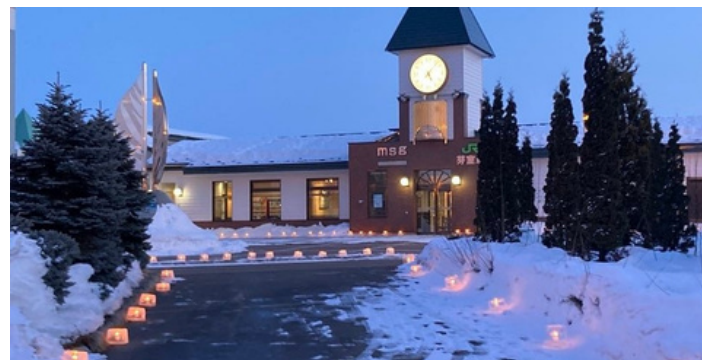
1964年(昭和39)3月22日未明
芽室町の中心市街地で大規模な火災が発生し、87戸が全焼、403人が被災し、一晚にして中心市街地は焼け野原となりました。

当日は最大風速20Mともいわれる強風であり、飛び火で300M先の亜麻工場が出火するなど、町は甚大な被害を受けました。

芽室町広報誌「すまいる」2022.3月号(P15)では、芽室大火の記事を掲載しています。芽室大火を忘れない、当時を風化させないために今できることを考えるときが来ているのかもしれません。

もうひとつの めむろ氷灯夜2022

新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされた「氷灯夜」
ただ中止にするのはあまりにも残念だ。と立ち上がった実行委員会
アイスクャンドルを配布し、各所で一齐に点灯してもらおうという
「もうひとつの」氷灯夜を実現させた



2月5日（土）に開催を予定していた「氷灯夜2022」は、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大のため、1991年にイベントが始まって以来、初の中止となりました。しかし、すでに3,000個ものアイスクャンドルが製作されており、ただ処分するのではなく、キャンドルを各家庭へ配布し、各所で一齐点灯していただく企画を新たに考案しました。

アイスクャンドル配布日当日は想定を遥かに超える人数が会場に訪れ、大反響を呼びました。夜には各所でキャンドルが灯され、町中がきらびやかな光で包まれました。公立芽室病院の駐車場にもキャンドルが設置され、病院内から見える配置に。患者様からは、「ありがとう」「励まされるよ」と笑顔でお言葉をいただきました。



あなたの“想い”をふるさとへ

生まれ育った「ふるさと」の力になりたい

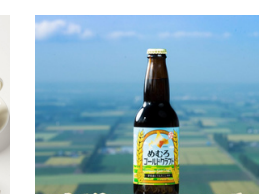
自分と関わりの深い地域を応援したい。

そんなあなたの想いがまちづくりへとつながる。

ご寄附いただいた方へ芽室町の特産品をお届けします。

く暖かいご支援お待ちしております。

FURUSATO



ふるさと納税

「自分を育ててくれた”ふるさと”に自分の意思で
いくらかでも納税できる制度があってもよいのではないか」
そんな問題提起から始まったふるさと納税制度
芽室町では、いただいた寄附へ感謝の気持ちを込めて特産品を
お送りしています。農業王国ならではの旬の農産物や新しい芽室
町の味覚をお楽しみください。



新たな特産品もぞくぞく登場!!

NEW
めむろピーナッツ
Tシャツ・マスク



NEW
めむろワイナリー
醸造ワイン



小久保の
ブンギスカン



収穫量日本
とうもろこし



魅力創造課
0155-62-9736
へお問合せください!

芽室町 ふるさと納税



編集後記

年3回の発行でしたが、1年間購読いただきありがとうございました！
来年度以降もより見やすく、ふるさと会の情報をお届けできるよう
に邁進してまいります！「こんな情報がほしい」「こんな記事がみ
たい」など要望ございましたら、ご連絡ください。皆様からのご意見
お待ちしております。

真田



芽室町役場魅力創造課魅力創造係TEL:0155-62-9736/FAX:0155-62-4599